

食べる・たいせつフェスティバル in 室蘭

2020年（平成32年）4月24日に白老町に開設予定の「民族共生象徴空間」と世界文化遺産推薦候補となっている「北海道・北東北の縄文遺跡群」のPRのため、 Coop さっぽろ主催の「食べる・たいせつフェスティバル」に参加しました。

平成30年9月22日 場所は登別市札内町の日本工学院北海道専門学校です。

朝から雨のちらつく生憎の空模様にもかかわらず、外を覗いてみると、多くの方が開場を待ち、長い行列を作っております。



お客様をお迎えする準備は整いました。
皆さん、来てくれるでしょうか。

開場と同時にお客様がそれぞれ目当てのコーナーに向かいます。私たちのブースにも沢山立ち寄ってくれました。

ここは、ムックリ演奏体験のコーナーです。ムックリとは、口琴の一種でアイヌの人たちの楽器です。

竹やネマガリダケを薄く削った板を舌状にくり抜きリードとし、リードの部分に係で弾き、口の中に共鳴させることにより音を出します。



子どもたちがたくさん集まってくれました。
音を鳴らすのに、悪戦苦闘しています。



ムックリというと、女性の方が演奏するものだと勝手なイメージを持っていたのですが、白老の場合、男性が女性に恋心を伝える手段でもあったそうです。

衣装試着コーナーです。
用意した着物が大人用なので、お端折りして合わせています。なかなかお似合いですね。
衣装は白老アイヌ協会会員の手作りです。



鉢巻（マタンブシ）を帯にしています



一人は、「こっちがいい」と胆振のはっぴ着用で、御満悦です。

こちらは、縄文アクセサリーづくりです。
今回は、勾玉を作ってみました。

材料は滑石（タルク）というや柔らかい石で、白色、桃色、緑色のものの中から好きな石を選んで磨いていきます。



最初にちょっと縄文文化のお勉強です。

こんな感じに形を整えながら磨いていきます。

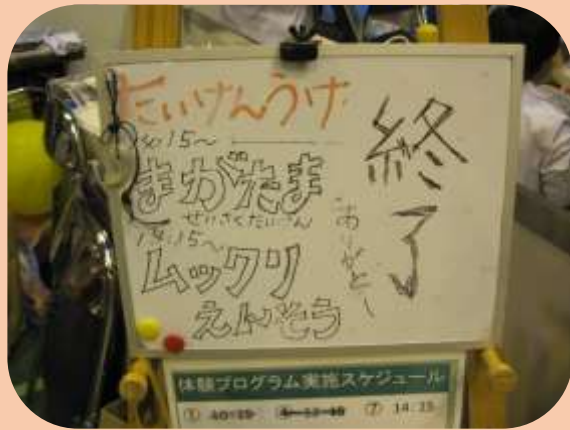
もっときれいに仕上げたいとサンドペーパーを持ち帰る方も大勢いらっしゃいました。

でも、本当に柔らかいので、あまり削るとどんどん小さくなってしまいますよ。



アンケートをとっています。
「あなたは白老町にできる民族共生象徴空間
を知っていますか？」

知っている人が30%いらっしゃいました。
た。
もっともっと、知っていただくようにな
らばります。



全7回の体験終了です。
おかげさまで、全回満員でした。
皆様、ありがとうございました。



初めてのイベント参加でしたが、反応は
最高でした。反省点もたっぷりありますの
で、次回の10月13日苫小牧開催に向けて、
日々精進です。



ご参加いただき、ありがとうございました。



今後も胆振地域の縄文・アイヌ文化を、多くの
人に知っていただくため、体験会やパネル展等
を行いますので、是非ご参加ください。

